

平成 21 年 8 月 12 日  
記者発表  
住宅局建築指導課  
国土技術政策総合研究所

## 「建築物事故情報ホットライン」の受付窓口の移設及び 「建物事故予防ナレッジベース」のインターネット公開について

### 1. 概要

国土交通省では、一般の方々から建物内で遭遇した事故やヒヤリハット情報について情報提供を求める「建築物事故情報ホットライン」を、(財)日本建築防災協会の協力を得て同協会に設置し、情報収集をしてきたところですが、今般、国土技術政策総合研究所が住宅局と連携し、事故事例の紹介、事故パターンやその安全対策に関連した情報を提供する「建物事故予防ナレッジベース<sup>※1</sup>」をインターネット公開することとなり、そのウェブサイトに「建築物事故情報ホットライン」の受付窓口を移設することとなりました。

社会の高齢化を反映し、廊下で転ぶ、階段から転落するなど日常生活における建物における事故が多発しており、統計によれば、それらによる死者数は、今後、交通事故の死者数にも匹敵していくことが推定されています。こうした事故は、利用者の不注意で生じるケースもありますが、建物の設計者、管理者の不注意による場合もあり、利用者、設計者、管理者が、それぞれ、事故事例を把握し、危険性を認識した上で、一定の配慮をするだけで、多くの事故を予防することができます。

「建物事故予防ナレッジベース」は、建物内、建物敷地内における事故防止等に役立てていただくことを目的に、事故の事例を収集、紹介するとともに事故のパターンやその安全対策に関連した情報を提供するため、開発、公開されるものです。

※1 「ナレッジベース」とは、知識集（ナレッジ＝知識）という意味です。

### 2. 「建物事故予防ナレッジベース」サイトの内容

「建物事故予防ナレッジベース」には、国土技術政策総合研究所が外部識者等の協力を得つつ、アンケート調査や判例検索などを通じて収集した、合計約 750 件（今後、定期的に追加予定）の、事故及びヒヤリハット事例、事故に関する判例等を掲載するとともに、事故を類型化した 110 種類の事故パターン及びその対策、その他関連する資料を、検索しやすく構成しています。

また、このウェブサイトは、建物の利用者の皆様から事故情報やヒヤリハット情報をお寄せいただくとともに、設計者、管理者の皆様からの失敗例や工夫などの情報提供をいただく機能も兼ねており、事故予防に役立つ情報の充実を図るため、皆様からの積極的な情報提供を期待しています。

#### アドレス (URL)

URL : <http://www.tatemonojikoyobo.nilim.go.jp/>

問い合わせ先 : 住宅局建築指導課 建築安全調査室 課長補佐 谷山  
Tel 03-5253-8111 (内線 39-564) 03-5253-8933 (直通)

国土技術政策総合研究所 建築研究部  
基準認証システム研究室 室長 高見  
構造基準研究室 研究官 小野  
Tel 029-864-4397 (直通)